

平成29年度
第1回若者版県政モニターアンケート調査
単純集計結果

平成29年7月実施

岐阜県

目 次

I	調査概要	1
1. 1	調査の目的	1
1. 2	調査の経緯	1
1. 3	モニター応募資格	1
1. 4	調査時期	1
1. 5	回収結果	1
1. 6	報告書の見方	1
1. 7	対象者の属性	2
F-1	性別	2
F-2	年代	2
F-3	居住圏域（8分類）	3
F-4	職業	4
F-5	結婚の有無	4
II	調査結果	5
問1	岐阜県の住みやすさ	5
問1-2	住みやすいを選んだ理由	6
問1-3	住みにくいを選んだ理由	7
問2	今後の暮らしの中で重視したいこと	8
問3	岐阜県への愛着や親しみ	9
問4	岐阜県の魅力	10
問5	岐阜県のイメージ	11
問6	将来岐阜県で就職したいか	12
問7	将来岐阜県に住みたいか	13
問8	岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと	14
問9	県の仕事への関心の有無	15
問9-2	岐阜県の仕事に関心がない理由	16
問10	社会への貢献	17
問11	「清流の国ぎふ」の認知度	18
問12	岐阜県の地方創生への進め方	19
問13	施策や事業についての情報の入手方法	20
問14	県公式ホームページの利用頻度	21
問14-2	県公式ホームページの利用目的	23
問14-3	県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと	24
問15	岐阜県行政に対するご意見・ご要望	25

I 調査概要

1. 1 調査の目的

県に所縁のある若者の意識を把握するとともに、県行政に対する若者の関心を調査し、県政推進の基礎資料とする。

1. 2 調査の経緯

平成29年度より実施

1. 3 モニター応募資格

- ・18～29歳の方（平成29年5月1日現在）
- ・県内に居住、通勤もしくは通学されている方、または岐阜県出身で県外在住の方
- ・インターネットにより、アンケートに回答できる方

1. 4 調査時期

平成29年7月27日～8月28日

1. 5 回収結果

	調査時期	モニター数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
第1回 (平成29年度)	平成29年 7、8月	249	193	193	77.5%	77.5%

1. 6 報告書の見方

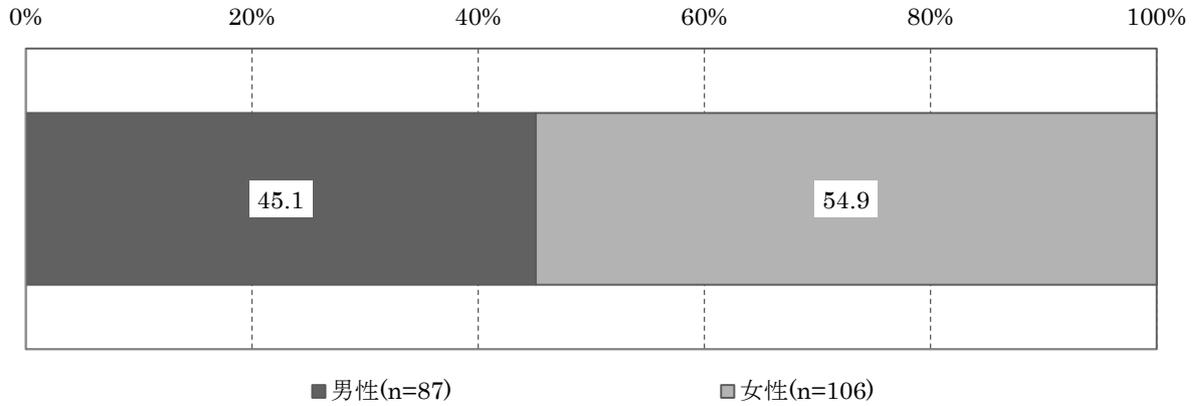
- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、nを100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常100%を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ、及び本文中で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

1. 7 対象者の属性

F-1 性別

図 F-1 性別

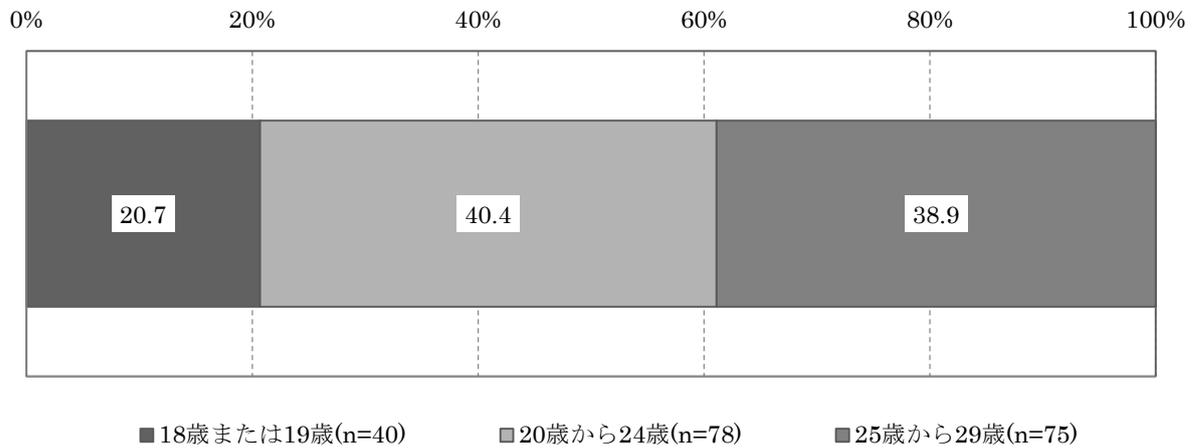
回答者数(n=193)



F-2 年代

図 F-2 年代

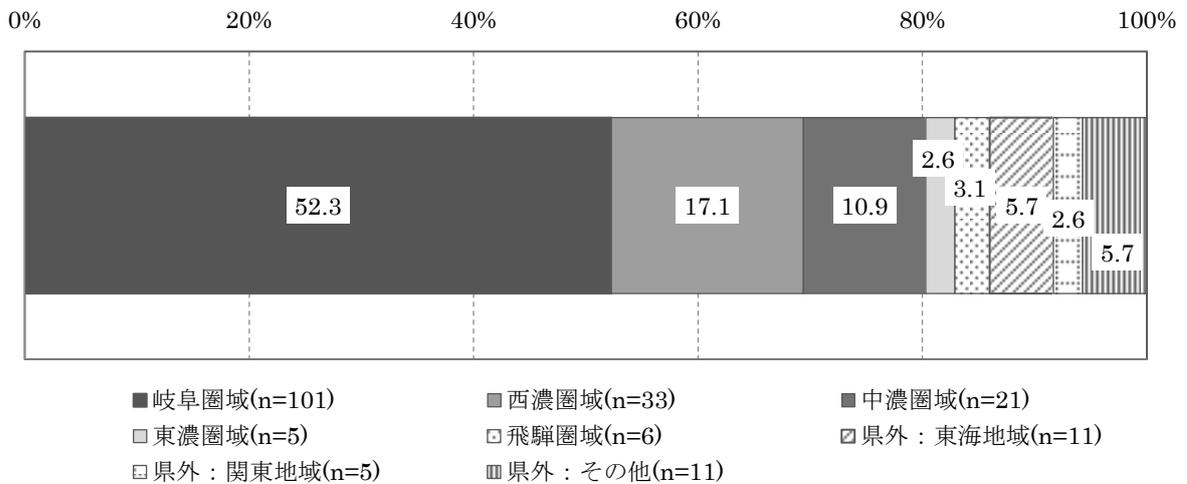
回答者数(n=193)



F-3 居住圏域（8分類）

図 F-3 居住圏域（8分類）

回答者数(n=193)



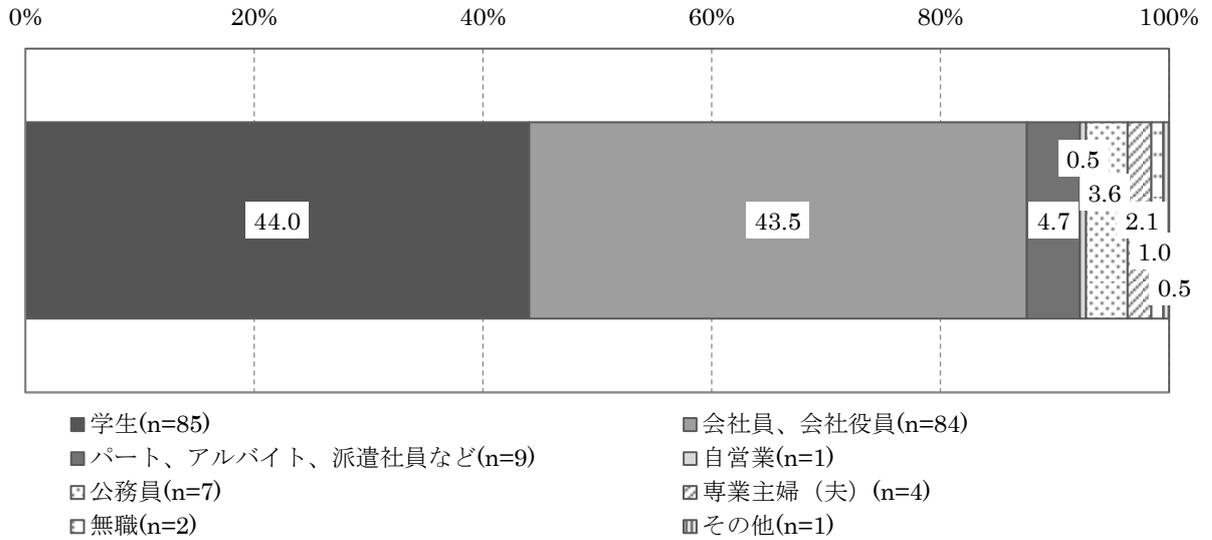
岐阜圏域（岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）
 西濃圏域（大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・
 揖斐川町・大野町・池田町）
 中濃圏域（関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八
 百津町・白川町・東白川村・御嵩町）
 東濃圏域（多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市）
 飛騨圏域（高山市・飛騨市・下呂市・白川村）
 県外：東海地域（愛知県、三重県）
 県外：関東地域（東京都、神奈川県など）

- ※ 「東濃圏域」、「飛騨圏域」について、回答者が少ないため、「Ⅱ調査結果」中においては、「岐阜圏域」、「西濃圏域」、「中濃圏域」、「東濃圏域」、「飛騨圏域」の5項目をまとめて「県内」として集計している。
- ※ 「県外：東海地域」、「県外：関東地域」、「県外：その他」について、回答者が少ないため、「Ⅱ調査結果」中においては、3項目をまとめて「県外」として集計している。

F-4 職業

図 F-4 職業

回答者数(n=193)

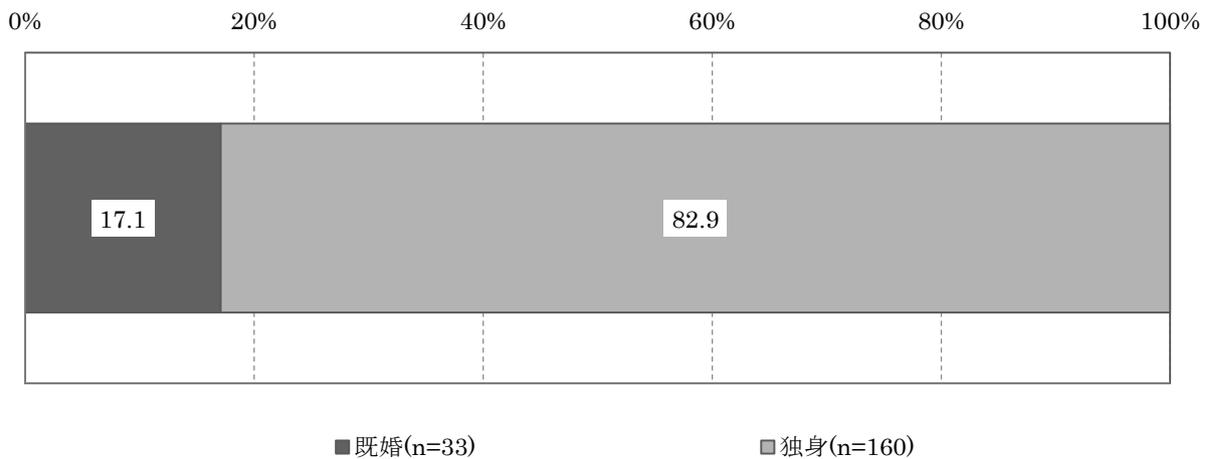


※「パート、アルバイト、派遣社員など」、「自営業」、「公務員」、「専業主婦 (夫)」、「無職」、「その他」について、回答者が少ないため、「Ⅱ調査結果」中においては、6項目をまとめて「その他の職業」として集計している。

F-5 婚姻の状況

図 F-5 婚姻の状況

回答者数(n=193)



Ⅱ 調査結果

問1 岐阜県の住みやすさ

問1 あなたは、岐阜県の住みやすさについてどうお考えですか。
 (現在、県外にお住まいの方は、岐阜県に住んでいた当時の印象でお答えください。)
 (1つだけ)

図1 岐阜県の住みやすさ(全体)

回答者数(n=193)

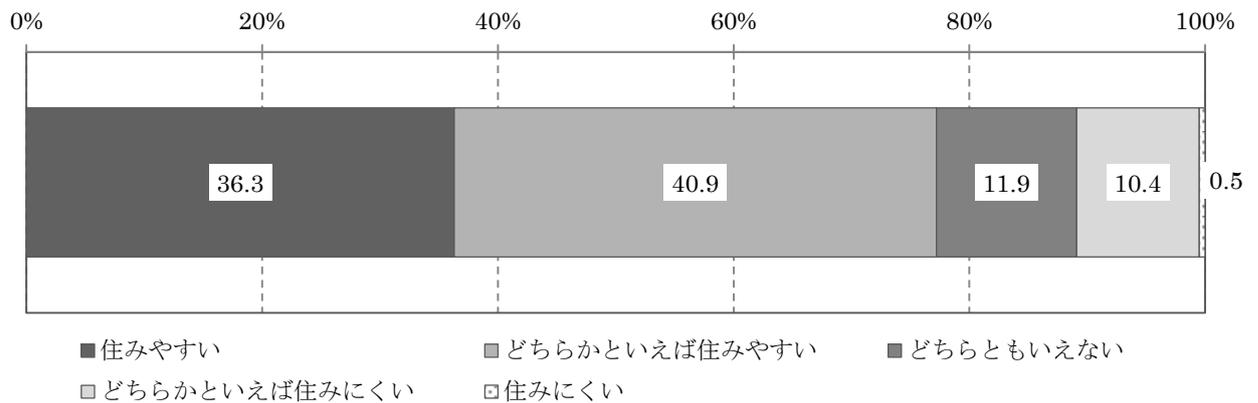


表1 住みやすさ(性別、年代別、居住圏域別、職業別)

条件別	住みやすい	どちらかとい えば住みやす い	どちらともい えない	どちらかとい えば住みにく い	住みにくい
男性	35.6%	34.5%	13.8%	14.9%	1.1%
女性	36.8%	46.2%	10.4%	6.6%	0.0%
18歳又は19歳	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%
20歳から24歳	38.5%	39.7%	12.8%	7.7%	1.3%
25歳から29歳	26.7%	42.7%	12.0%	18.7%	0.0%
県内	38.6%	38.6%	11.4%	10.8%	0.6%
県外	22.2%	55.6%	14.8%	7.4%	0.0%
学生	47.1%	38.8%	9.4%	3.5%	1.2%
会社員、会社役員	28.6%	42.9%	13.1%	15.5%	0.0%
その他の職業	25.0%	41.7%	16.7%	16.7%	0.0%

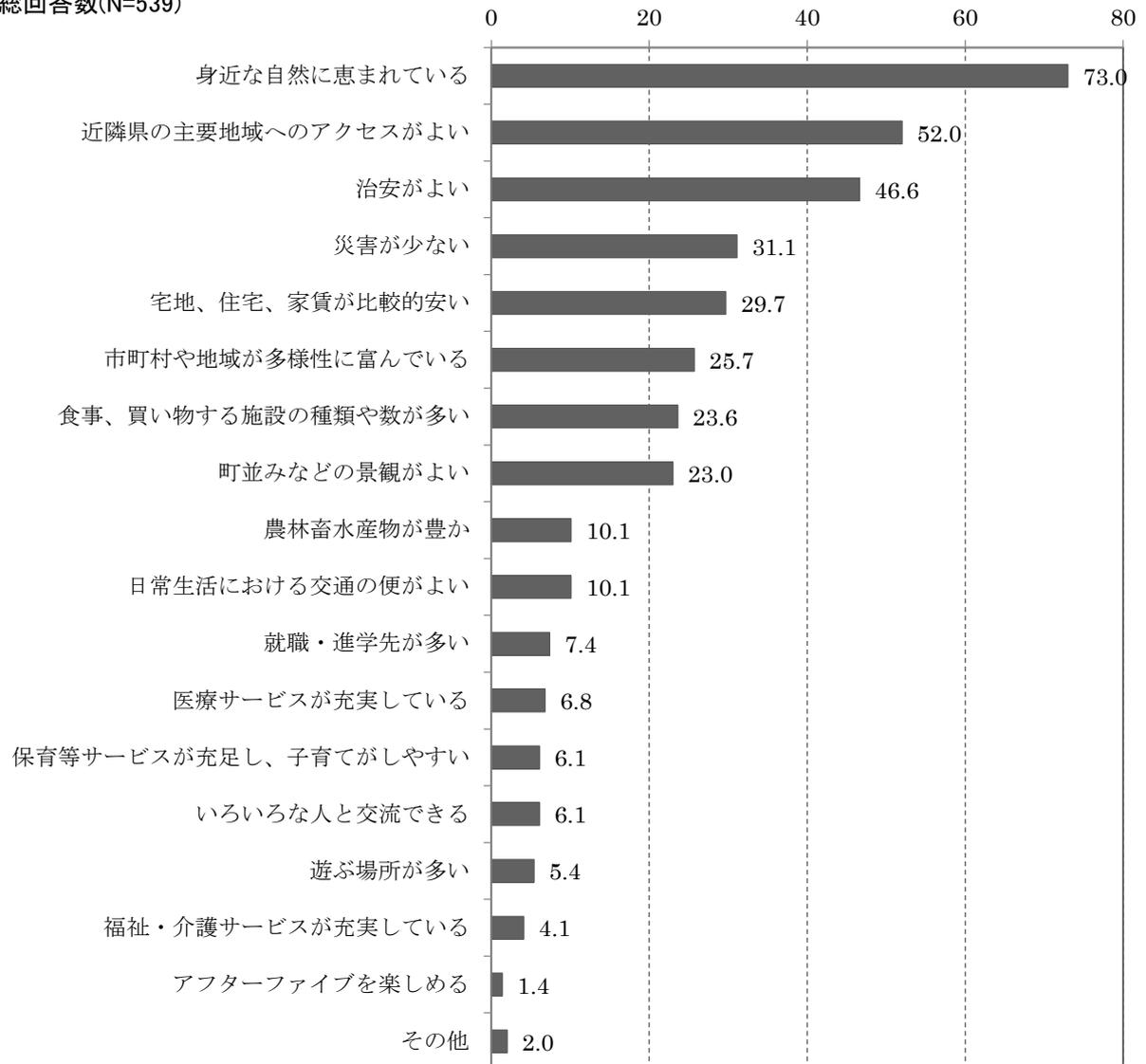
問1-2 住みやすいを選んだ理由

問1-2 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を選んだ方にお尋ねします。
その理由はなんですか。(いくつでも)

図 1-2 住みやすいを選んだ理由(全体)

回答者数(n=148)※

総回答数(N=539)



※問1で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を選んだ方(149人)のみ
「無回答」が1人いるため、回答者数は148人

※「その他」の内容

- ・都心部に比べ、人口が少なく混雑がない。
- ・湧き水がある。手軽な温泉が多い。

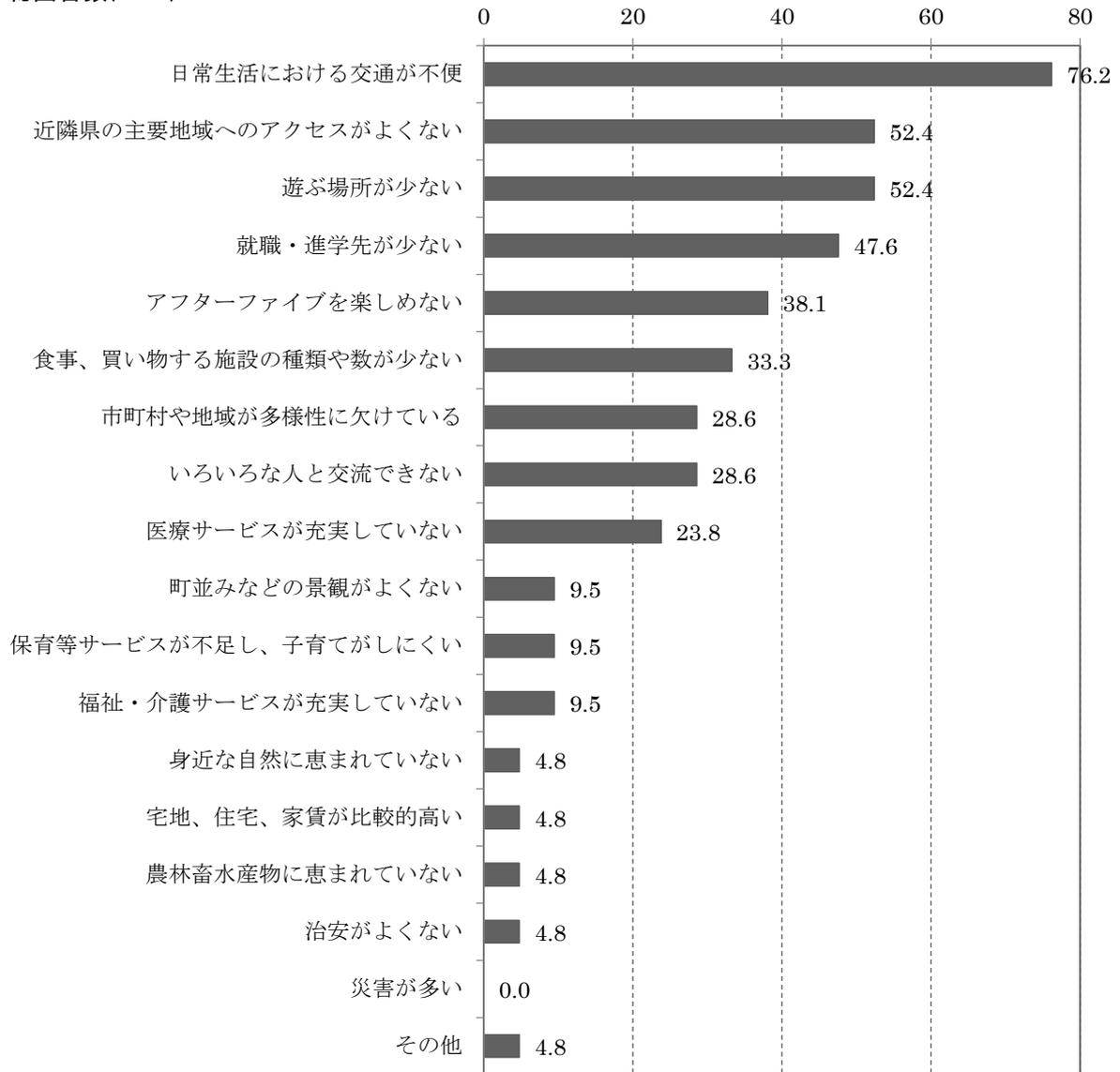
問1-3 住みにくいを選んだ理由

問1-3 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を選んだ方にお尋ねします。
その理由はなんですか。(いくつでも)

図 1-3 住みにくいを選んだ理由(全体)

回答者数(n=21)※

総回答数(N=91)



※問1で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を選んだ方のみ

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

- ・市町村や地域が多様性（都市的な面と農村的な面、近代的な面と伝統的な面など）に欠けている……市町村や地域が多様性に欠けている

※「その他」の内容

- ・他県の出身者だと分かる態度を変える地元民が多く、疎外感がある。
(たまに、温かく接してくれる人もいますが。)

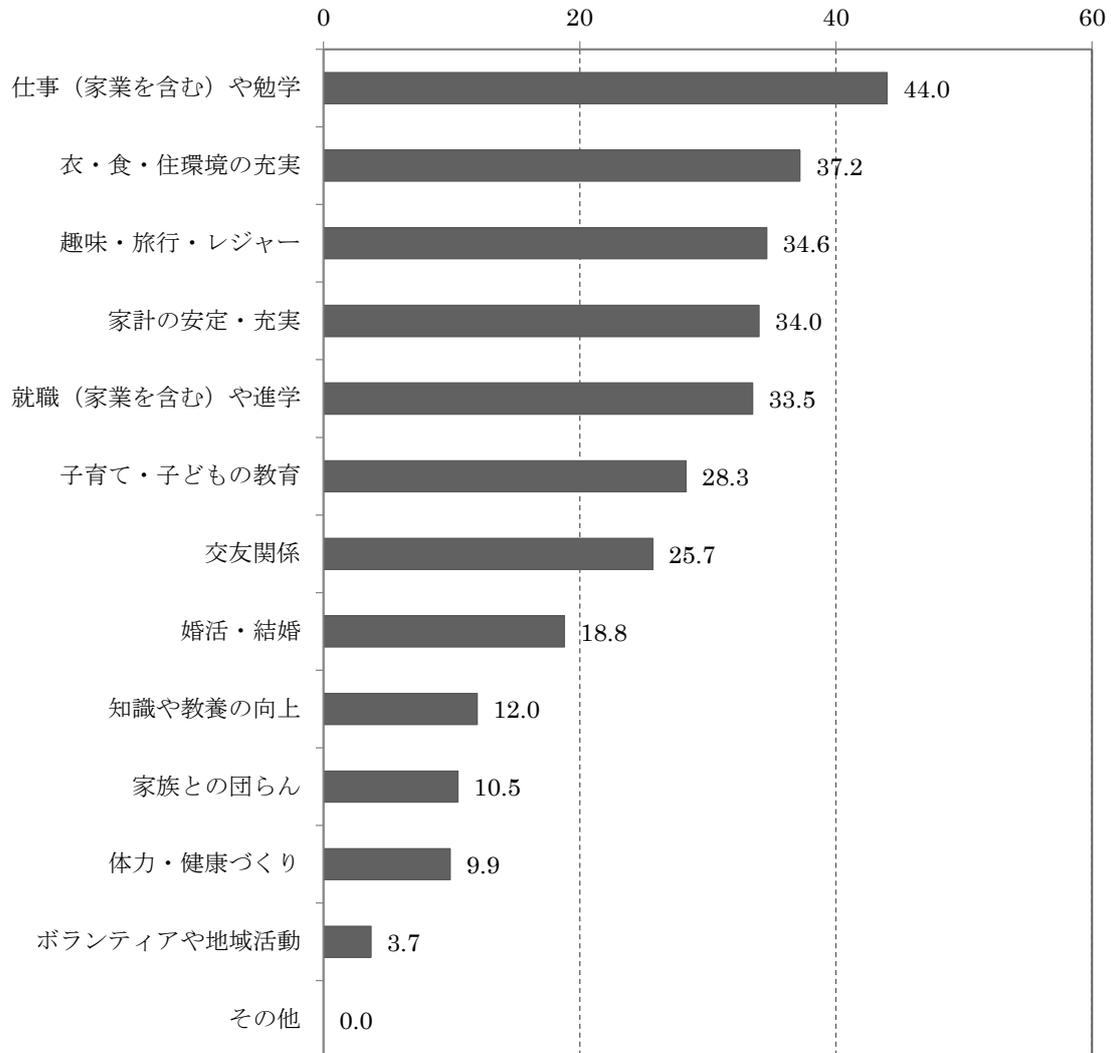
問2 今後の暮らしの中で重視したいこと

問2 あなたが、今後の暮らしの中で重視したいと思うことは何ですか。
(3つまで)

図2 今後の暮らしの中で重視したいこと(全体)

回答者数(n=191)※

総回答数(N=558)



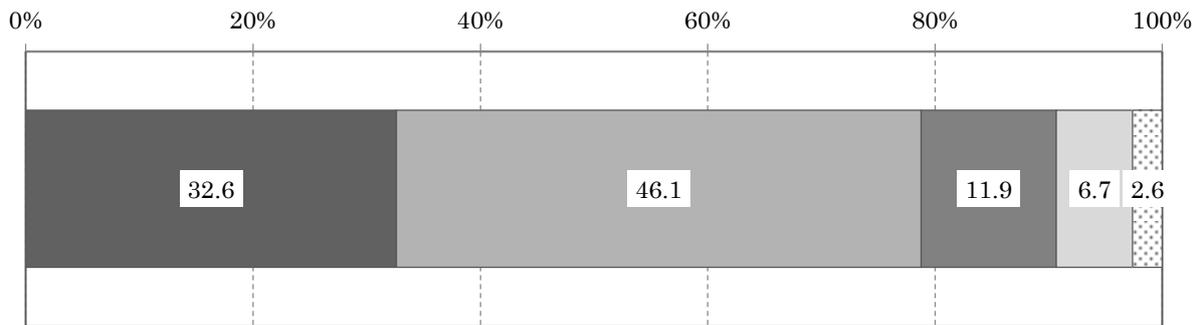
※「無回答」が2人いるため、回答者数は191人

問3 岐阜県への愛着や親しみ

問3 あなたは、岐阜県に愛着や親しみ、誇りを感じていますか。
 (現在、県外にお住まいの方は、岐阜県に住んでいた当時の印象でお答えください。)
 (1つだけ)

図3 岐阜県への愛着や親しみ(全体)

※ 回答者数(n=193)



■とても感じている ■ある程度感じている ■どちらともいえない □あまり感じない □全く感じない

表3 岐阜県への愛着や親しみ(性別、年代別、居住圏域別、職業別)

条件別	とても感じている	ある程度感じている	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない
男性	31.0%	44.8%	10.3%	8.0%	5.7%
女性	34.0%	47.2%	13.2%	5.7%	0.0%
18歳又は19歳	47.5%	35.0%	5.0%	10.0%	2.5%
20歳から24歳	33.3%	48.7%	11.5%	3.8%	2.6%
25歳から29歳	24.0%	49.3%	16.0%	8.0%	2.7%
県内	31.9%	46.4%	11.4%	7.2%	3.0%
県外	37.0%	44.4%	14.8%	3.7%	0.0%
学生	42.4%	40.0%	7.1%	8.2%	2.4%
会社員、会社役員	21.4%	57.1%	14.3%	4.8%	2.4%
その他の職業	37.5%	29.2%	20.8%	8.3%	4.2%

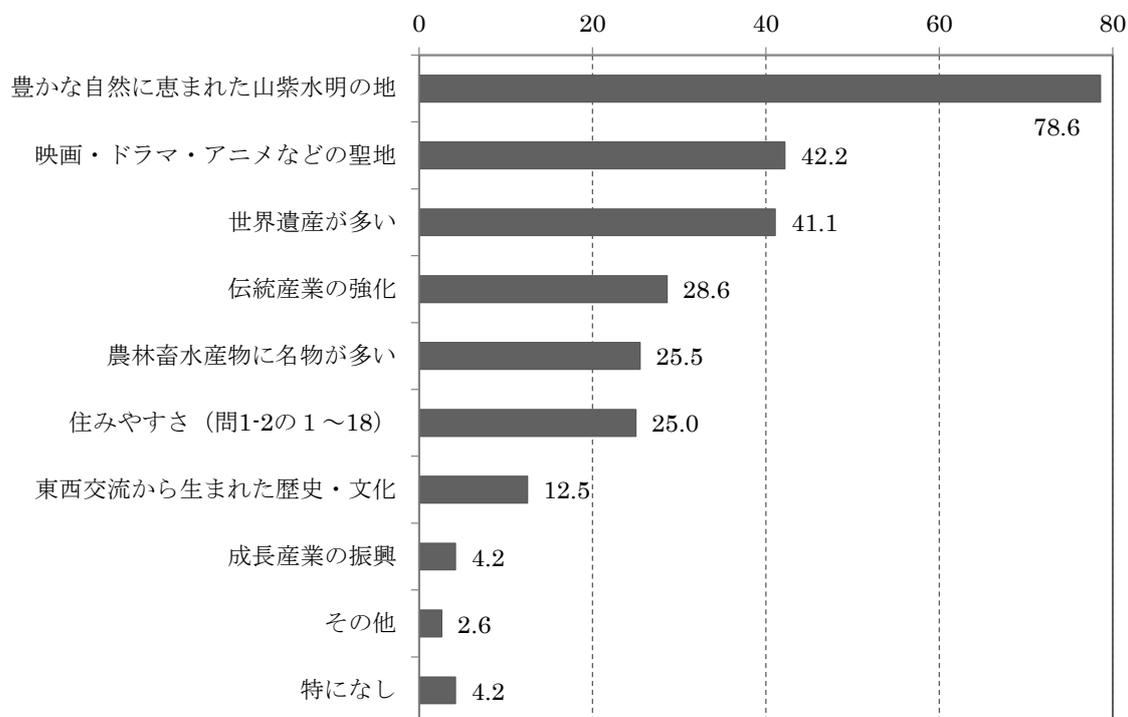
問4 岐阜県の魅力

問4 あなたが、岐阜県の魅力として友人や知人に自慢できるものは何ですか。
(3つまで)

図4 岐阜県の魅力(全体)

回答者数(n=192)※

総回答数(N=508)



※「無回答」が1人いるため、回答者数は192人

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のものについて括弧書きを略して表示している。

- ・豊かな自然に恵まれた山紫水明の地 (北アルプス、木曾三川など)
- ・世界遺産が多い (白川郷合掌造り集落、本美濃紙、山・鉾・屋台行事、清流長良川の鮎、曾代用水)
- ・成長産業の振興 (航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、次世代エネルギーなど)
- ・伝統産業の強化 (木工、美濃和紙、刃物、陶磁器など)
- ・東西交流から生まれた歴史・文化 (古戦場、伝統的町並みなど)
- ・映画・ドラマ・アニメなどの聖地 (君の名は。、ルドルフとイッパイアッテナ、聲の形、のうりん、氷菓など)
- ・農林畜水産物に名物が多い (飛騨牛、柿、鮎など)

※「その他」の内容

- ・まちづくり界隈の人材の豊かさなど人の魅力。
- ・愛知県に隣接していることもあり、46都道府県の中でも収入が多い。
- ・大垣の湧き水。
- ・濃尾平野のへりであり、ここから南が海までずっと平らな土地で隅々まで人が住んでいると考えるとワクワクする点。
- ・人が良い。

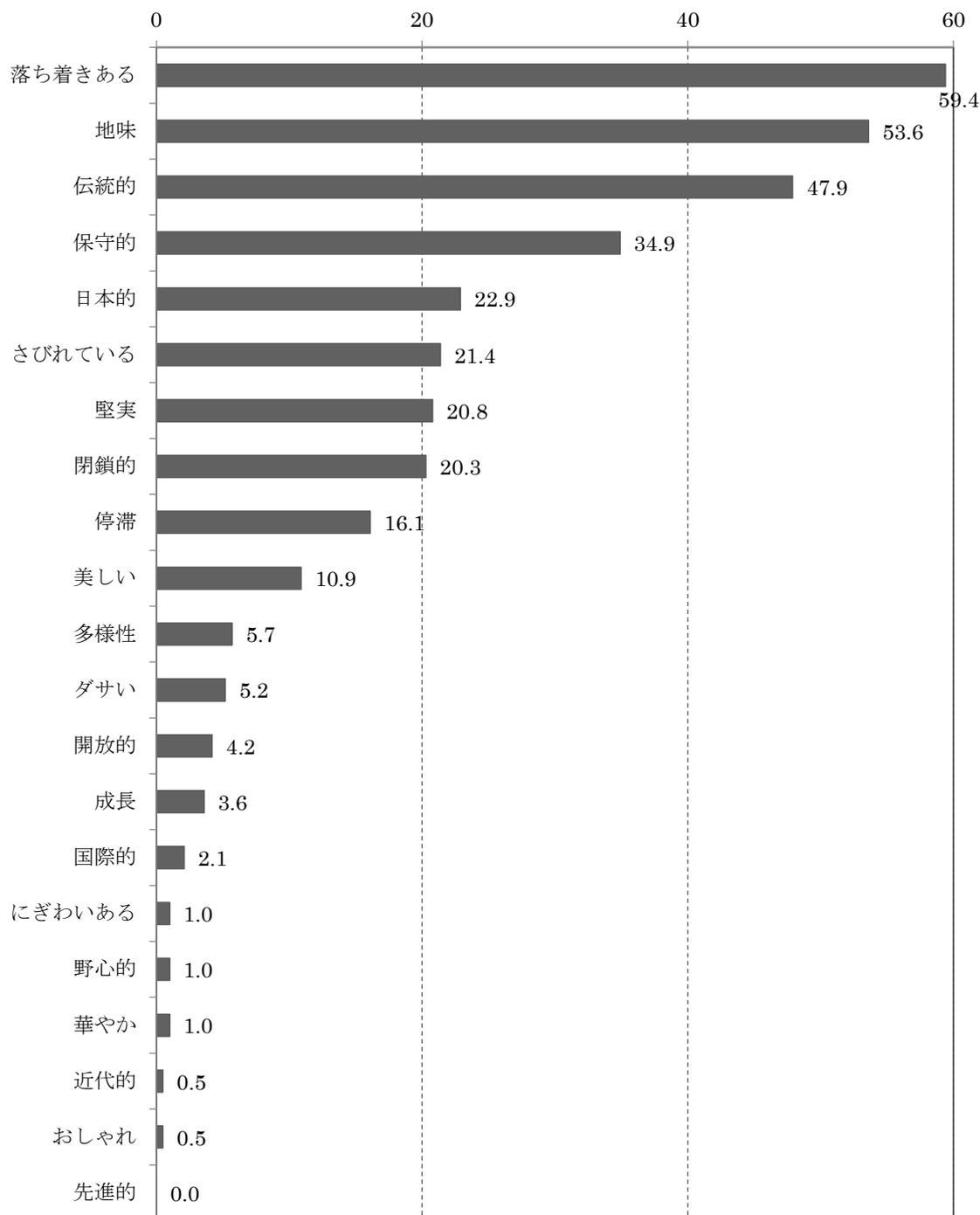
問5 岐阜県のイメージ

問5 あなたは、岐阜県にどんなイメージをお持ちですか。(いくつでも)

図5 岐阜県のイメージ(全体)

回答者数(n=192)※

総回答数(N=640)



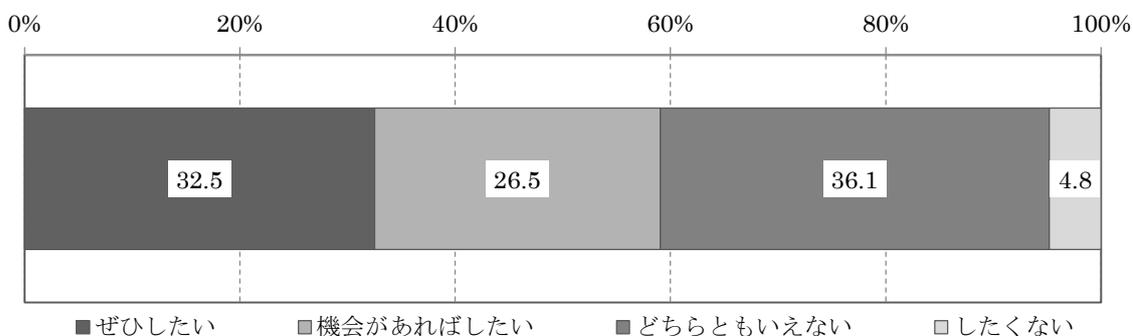
※「無回答」が1人いるため、回答者数は192人

問6 将来岐阜県で就職したいか

問6 現在、岐阜県内で就職している方以外にお尋ねします。
将来岐阜県で就職したいと思いますか。(1つだけ)

図6 将来岐阜県で就職したいか(全体)

回答者数(n=83)※



※現在、岐阜県内で就職している方以外のみ

※「したくない」の理由

- ・自分の就きたい職業の選択肢が少ない。
- ・地元に戻るから。
- ・名古屋の方が人が集まっていて活気がある。
- ・岐阜県より名古屋の方が仕事のやりがいやチャンス、出会いなどが多い気がする。

表6 将来岐阜県で就職したいか(性別、年代別、居住圏域別、職業別)

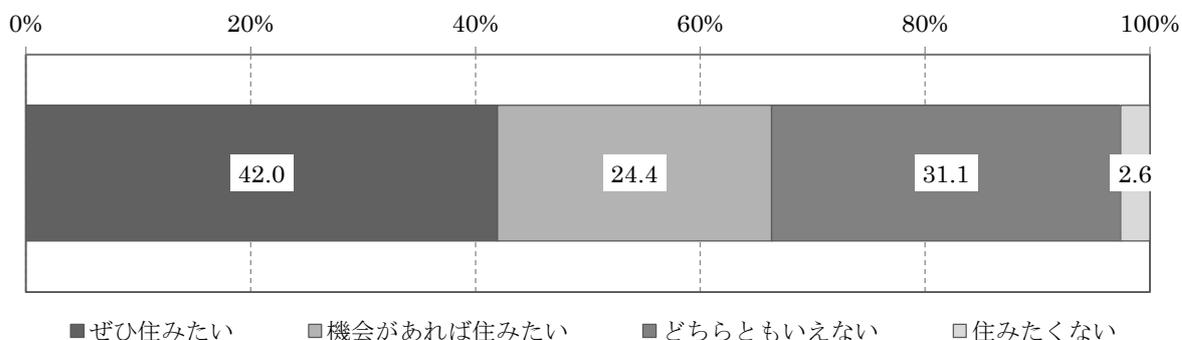
条件別	ぜひしたい	機会があれば したい	どちらともい えない	したくない
男性	24.1%	31.0%	37.9%	6.9%
女性	37.0%	24.1%	35.2%	3.7%
18歳又は19歳	31.0%	20.7%	44.8%	3.4%
20歳から24歳	37.5%	27.5%	32.5%	2.5%
25歳から29歳	21.4%	35.7%	28.6%	14.3%
県内	36.1%	27.9%	31.1%	4.9%
県外	22.7%	22.7%	50.0%	4.5%
学生	36.9%	23.1%	36.9%	3.1%
会社員、会社役員	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%
その他の職業	30.0%	30.0%	30.0%	10.0%

問7 将来岐阜県に住みたいか

問7 すべての方にお尋ねします。
将来岐阜県に住みたいと思いますか。(1つだけ)

図7 将来岐阜県に住みたいか(全体)

回答者数(n=193)



※「住みたくない」の理由

- ・ 地元に戻るから。
- ・ 地元は十分味わったので別の場所で暮らしたい。岐阜県はもう地元という位置付けになっている。ただ歳をとったら戻りたくなるかもしれない。
- ・ 交通の便が悪い。面白いイベントがない。
- ・ 名古屋市出身であり、名古屋の方が遥かに魅力がある。

表7 将来岐阜県に住みたいか(性別、年代別、居住圏域別、職業別)

条件別	ぜひ住みたい	機会があれば住みたい	どちらともいえない	住みたくない
男性	39.1%	21.8%	35.6%	3.4%
女性	44.3%	26.4%	27.4%	1.9%
18歳又は19歳	42.5%	22.5%	30.0%	5.0%
20歳から24歳	46.2%	21.8%	32.1%	0.0%
25歳から29歳	37.3%	28.0%	30.7%	4.0%
県内	44.0%	22.3%	31.3%	2.4%
県外	29.6%	37.0%	29.6%	3.7%
学生	41.2%	25.9%	30.6%	2.4%
会社員、会社役員	41.7%	22.6%	33.3%	2.4%
その他の職業	45.8%	25.0%	25.0%	4.2%

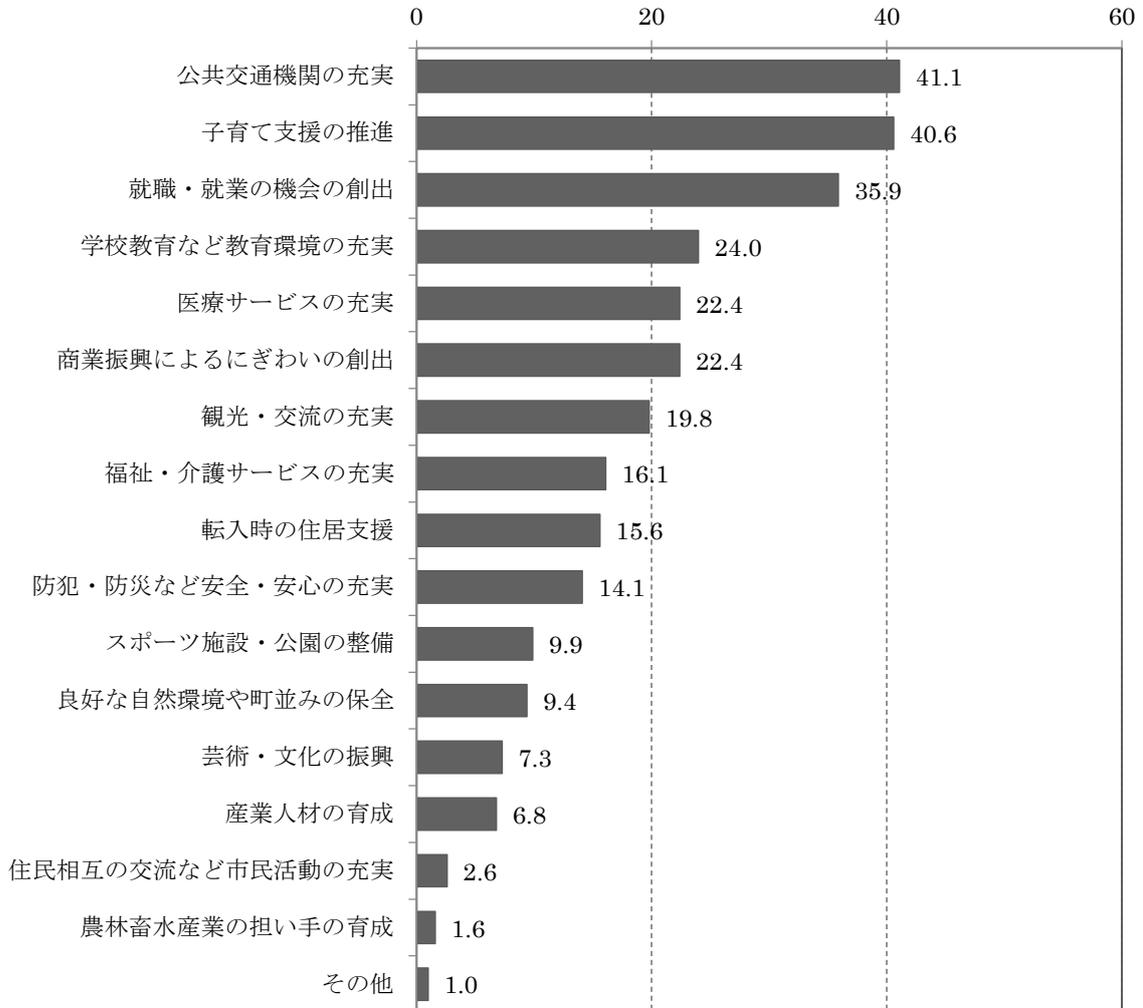
問8 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと

問8 あなたは、岐阜県への移住・定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで)

図8 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと(全体)

回答者数(n=192)※

総回答数(N=558)



※「無回答」が1人いるため、回答者数は192人

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

- ・住民相互の交流やボランティアなど市民活動の充実
- ……住民相互の交流など市民活動の充実

※「その他」の内容

- ・中小企業向けに、助成金や法人税率の引き下げを行う。
この部分で他県企業との競争力を高め、法人所得・個人所得を増加させ税収を増やす。
- ・伝統的な技術(鍛冶や和紙等)の継承と新しい分野への応用。

問9 県の仕事への関心の有無

問9 あなたは、岐阜県が行っている仕事（施策や事業及びその進め方）について、関心をお持ちですか。（1つだけ）

図9 県の仕事への関心の有無(全体)

回答者数(n=193)

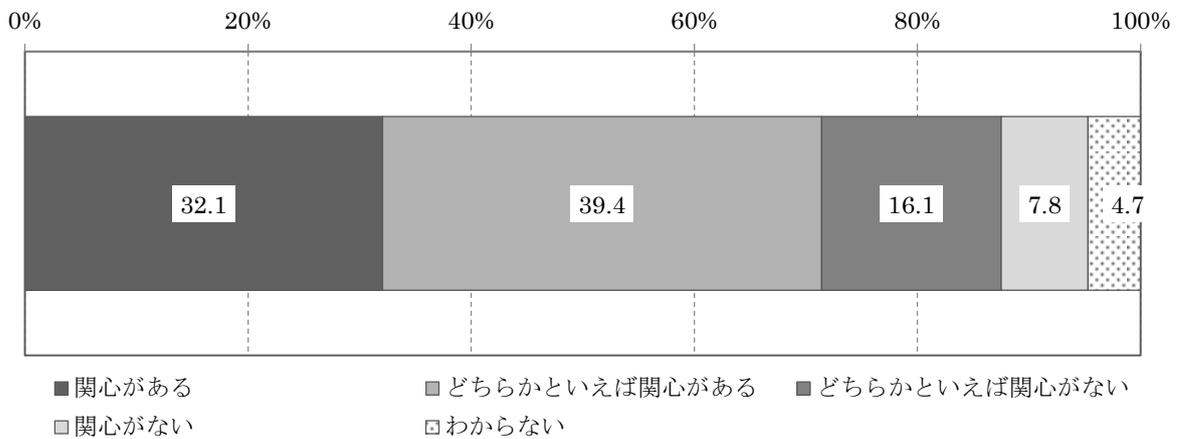


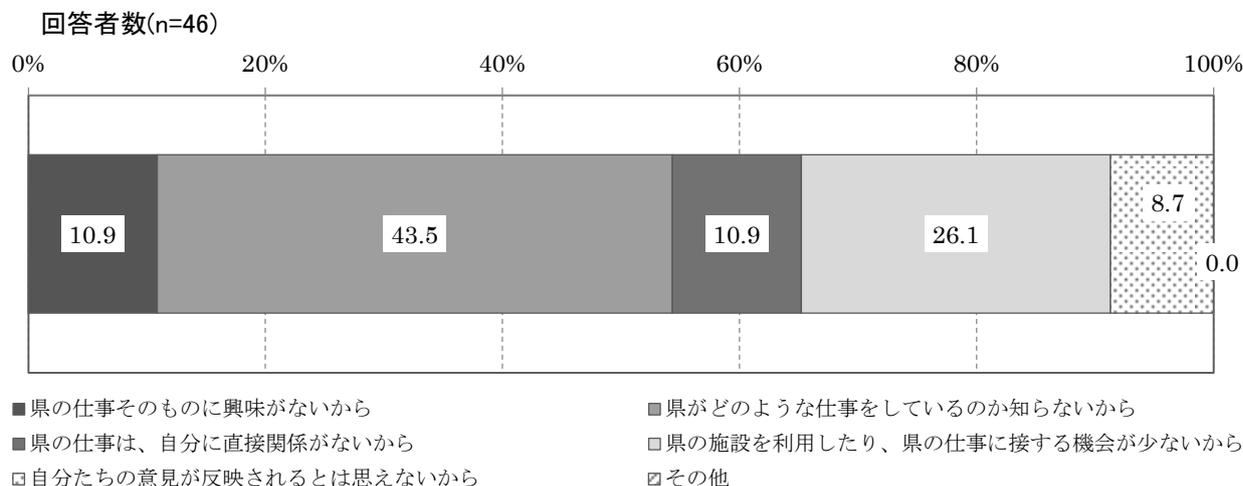
表9 県の仕事への関心の有無（性別、年代別、居住圏域別、職業別）

条件別	関心がある	どちらかとい えば関心があ る	どちらかとい えば関心がな い	関心がない	わからない
男性	39.1%	36.8%	14.9%	8.0%	1.1%
女性	26.4%	41.5%	17.0%	7.5%	7.5%
18歳又は19歳	45.0%	22.5%	12.5%	10.0%	10.0%
20歳から24歳	29.5%	44.9%	16.7%	2.6%	6.4%
25歳から29歳	28.0%	42.7%	17.3%	12.0%	0.0%
県内	30.1%	42.2%	15.1%	7.2%	5.4%
県外	44.4%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%
学生	37.6%	35.3%	14.1%	5.9%	7.1%
会社員、会社役員	25.0%	42.9%	19.0%	9.5%	3.6%
その他の職業	37.5%	41.7%	12.5%	8.3%	0.0%

問9-2 岐阜県の仕事に関心がない理由

問9-2 「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を選んだ方にお尋ねします。
 あなたが、岐阜県が行っている仕事（施策や事業及びその進め方）に関心がないのは、
 どのような理由からですか。（1つだけ）

図9-2 岐阜県の仕事に関心がない理由(全体)



※問9で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を選んだ方のみ

表9-2 岐阜県の仕事に関心がない理由(性別、年代別、居住圏域別、職業別)

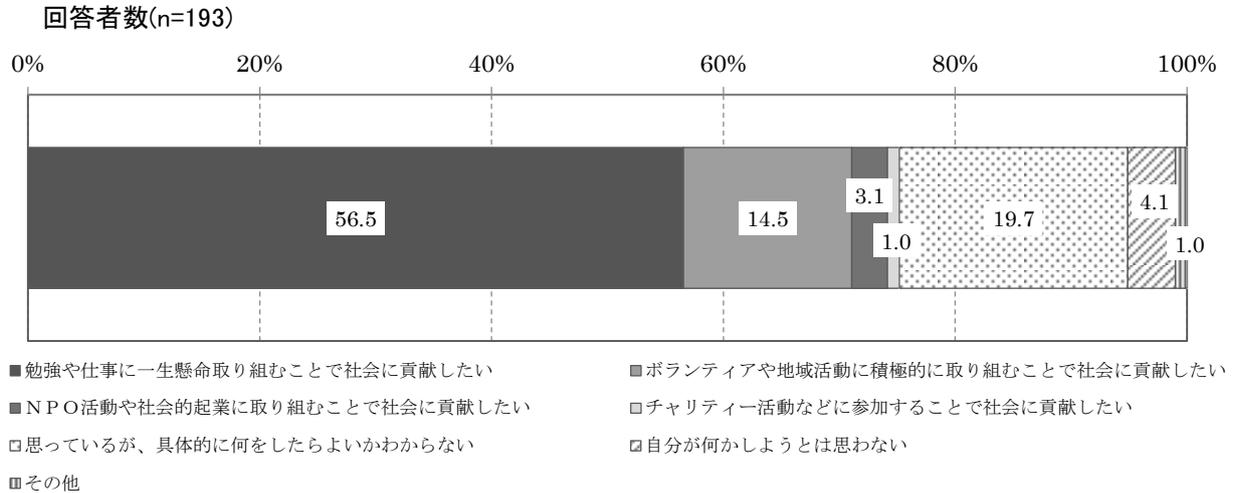
条件別	興味がない	知らない	関係がない	機会が少ない	反映され と思えない	その他
男性	15.0%	50.0%	0.0%	30.0%	5.0%	0.0%
女性	7.7%	38.5%	19.2%	23.1%	11.5%	0.0%
18歳又は19歳	11.1%	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
20歳から24歳	0.0%	60.0%	0.0%	33.3%	6.7%	0.0%
25歳から29歳	18.2%	27.3%	13.6%	27.3%	13.6%	0.0%
県内	10.8%	43.2%	10.8%	24.3%	10.8%	0.0%
県外	11.1%	44.4%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%
学生	5.9%	58.8%	17.6%	11.8%	5.9%	0.0%
会社員、会社役員	8.3%	37.5%	4.2%	41.7%	8.3%	0.0%
その他の職業	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%

興味がない	… 県の仕事そのものに興味がないから
知らない	… 県がどのような仕事をしているのか知らないから
関係がない	… 県の仕事は、自分に直接関係がないから
機会が少ない	… 県の施設を利用したり、県の仕事に接する機会が少ないから
反映され と思えない	… 自分たちの意見が反映されるとは思えないから

問10 社会への貢献

問10 あなたは、より良い未来を築くために何か社会に貢献しようと思っていますか。
(1つだけ)

図10 社会への貢献(全体)



※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

- ・ NPO活動や社会的起業（社会問題の解決を目的とした収益事業としての取り組み）に取り組むことで社会に貢献したい
……NPO活動や社会的起業に取り組むことで社会に貢献したい

※「その他」の内容

- ・ このモニタリング制度に参加することで、意見を伝える。
- ・ 地元の市長など地方政治家。

表10 社会への貢献(性別、年代別、居住圏域別、職業別)

条件別	勉強や仕事	ボランティアや地域活動	NPO活動や社会的起業	チャリティー活動への参加	わからない	思わない	その他
男性	57.5%	16.1%	3.4%	0.0%	17.2%	3.4%	2.3%
女性	55.7%	13.2%	2.8%	1.9%	21.7%	4.7%	0.0%
18歳又は19歳	55.0%	20.0%	5.0%	2.5%	15.0%	2.5%	0.0%
20歳から24歳	56.4%	17.9%	2.6%	1.3%	16.7%	2.6%	2.6%
25歳から29歳	57.3%	8.0%	2.7%	0.0%	25.3%	6.7%	0.0%
県内	57.2%	15.1%	2.4%	1.2%	19.3%	3.6%	1.2%
県外	51.9%	11.1%	7.4%	0.0%	22.2%	7.4%	0.0%
学生	54.1%	21.2%	4.7%	2.4%	14.1%	2.4%	1.2%
会社員、会社役員	63.1%	8.3%	1.2%	0.0%	23.8%	2.4%	1.2%
その他の職業	41.7%	12.5%	4.2%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%

問11 「清流の国ぎふ」の認知度

問11 岐阜県は、これまで「清流の国ぎふ」づくりの基礎固めとして、本県が誇る地域資源を磨き、伝統文化や食、地場産業や観光資源などの魅力を一つのブランドにまとめ、国内外に精力的に発信してまいりました。

あなたは、このように岐阜県が「清流の国ぎふ」をキーコンセプトとして、地方創生に取り組んでいることを知っていますか。(1つだけ)

図11 「清流の国ぎふ」の認知度(全体)

回答者数(n=193)

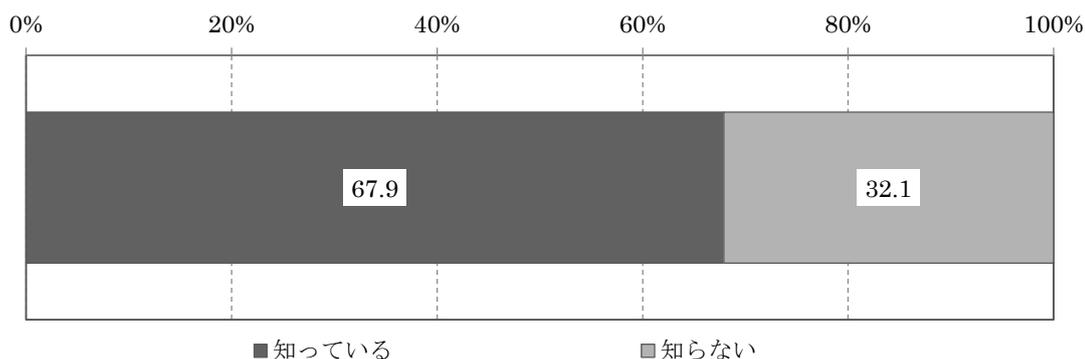


表11 「清流の国ぎふ」の認知度(性別、年代別、居住圏域別、職業別)

条件別	知っている	知らない
男性	67.8%	32.2%
女性	67.9%	32.1%
18歳又は19歳	70.0%	30.0%
20歳から24歳	67.9%	32.1%
25歳から29歳	66.7%	33.3%
県内	67.5%	32.5%
県外	70.4%	29.6%
学生	67.1%	32.9%
会社員、会社役員	71.4%	28.6%
その他の職業	58.3%	41.7%

問12 岐阜県の地方創生への進め方

問12 岐阜県は、本年度から、

- ①産業や地域を支える人材の育成など「清流の国ぎふ」を支える人づくり」
- ②中小企業が取り組むモノづくりのIoT化や観光・交流産業の根幹産業化など「地域の魅力を活かした「清流の国ぎふ」づくり」
- ③医療と福祉の充実・連携や災害に強い県土づくりなど「安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり」

を三本の柱として「清流の国ぎふ」づくりを全面展開してまいります。
あなたは、このような岐阜県の地方創生の進め方について、どう思われますか。
(1つだけ)

図12 岐阜県の地方創生への進め方(全体)

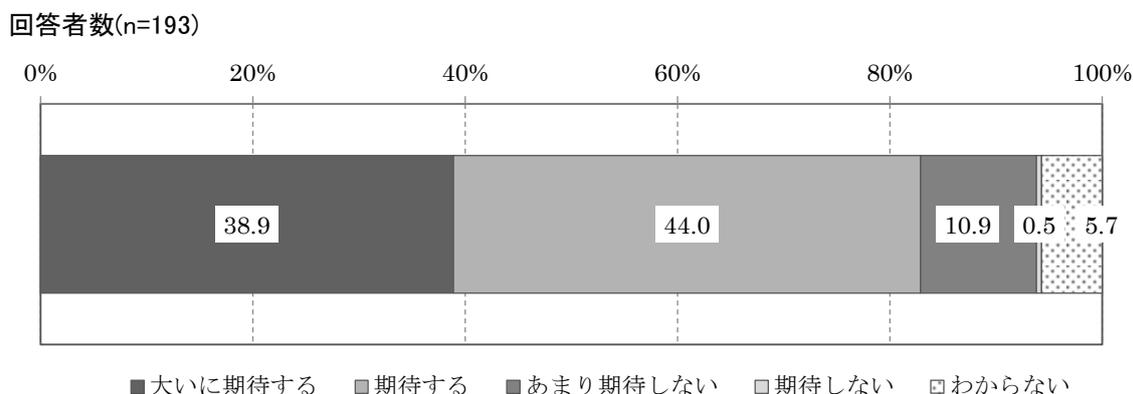


表12 岐阜県の地方創生への進め方(性別、年代別、居住圏域別、職業別)

条件別	大いに期待する	期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
男性	44.8%	39.1%	10.3%	1.1%	4.6%
女性	34.0%	48.1%	11.3%	0.0%	6.6%
18歳又は19歳	37.5%	45.0%	12.5%	0.0%	5.0%
20歳から24歳	38.5%	47.4%	10.3%	1.3%	2.6%
25歳から29歳	40.0%	40.0%	10.7%	0.0%	9.3%
県内	39.2%	43.4%	10.8%	0.0%	6.6%
県外	37.0%	48.1%	11.1%	3.7%	0.0%
学生	35.3%	45.9%	12.9%	1.2%	4.7%
会社員、会社役員	44.0%	47.6%	4.8%	0.0%	3.6%
その他の職業	33.3%	25.0%	25.0%	0.0%	16.7%

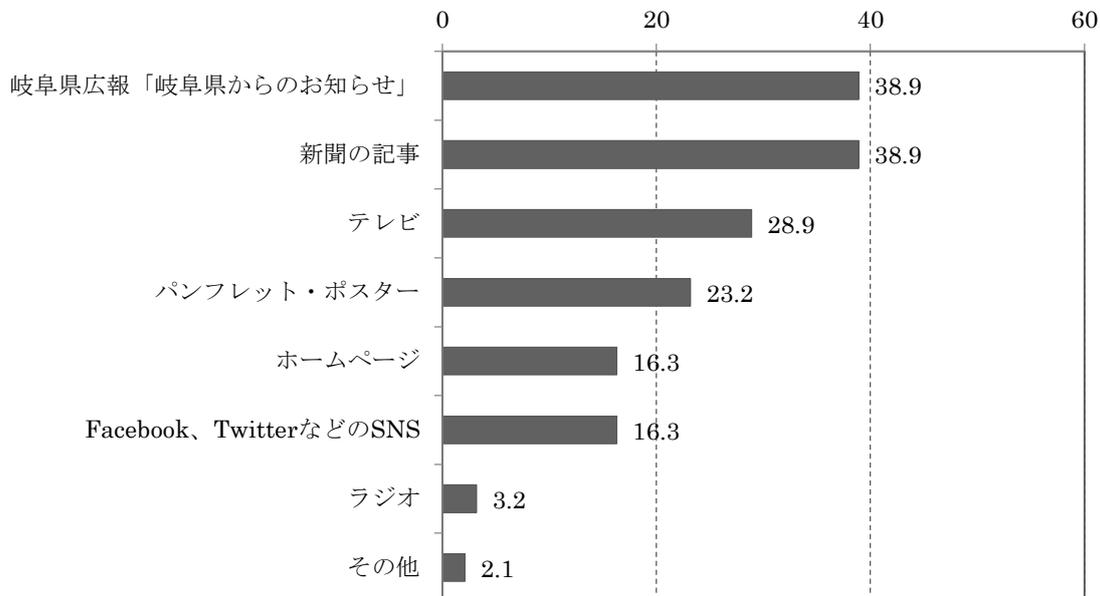
問13 施策や事業についての情報の入手方法

問13 あなたは、岐阜県が行っている施策や事業を、何によって知ることが多いですか。
(いくつでも)

図13 施策や事業についての情報の入手方法(全体)

回答者数(n=190)※

総回答数(N=319)



※「無回答」が3人いるため、回答者数は190人

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のものについて括弧書きを略して表示している。

- ・岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」
(市町村広報紙又は地域情報誌(フリーペーパー)に掲載)
- ・ホームページ(県公式ホームページ以外も含む)
- ・Facebook、TwitterなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

※「その他」の内容

- ・知人から聞く。
- ・親族(県職員)から聞いて。
- ・チラシ。
- ・大学内の職員のかたからの紹介。

問14 県公式ホームページの利用頻度

問14 あなたはどのくらいの頻度で県公式ホームページを利用していますか。
(端末ごとに1つつ)

【県公式ホームページの利用頻度（スマートフォンやタブレット）】

図14-1 県公式ホームページの利用頻度(スマートフォンやタブレット)(全体)

回答者数(n=193)

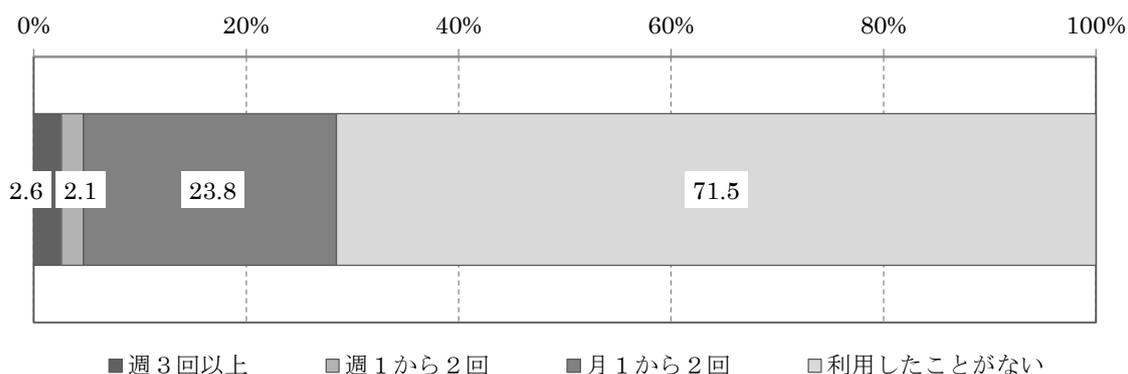


表14-1 県公式ホームページの利用頻度(スマートフォンやタブレット)(性別、年代別、居住圏域別、職業別)

条件別	週3回以上	週1から2回	月1から2回	利用したことがない
男性	3.4%	3.4%	20.7%	72.4%
女性	1.9%	0.9%	26.4%	70.8%
18歳又は19歳	7.5%	0.0%	20.0%	72.5%
20歳から24歳	1.3%	3.8%	24.4%	70.5%
25歳から29歳	1.3%	1.3%	25.3%	72.0%
県内	3.0%	1.2%	22.3%	73.5%
県外	0.0%	7.4%	33.3%	59.3%
学生	4.7%	3.5%	29.4%	62.4%
会社員、会社役員	1.2%	1.2%	14.3%	83.3%
その他の職業	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%

【県公式ホームページの利用頻度（パソコン）】

図 14-2 県公式ホームページの利用頻度（パソコン）（全体）

回答者数(n=193)

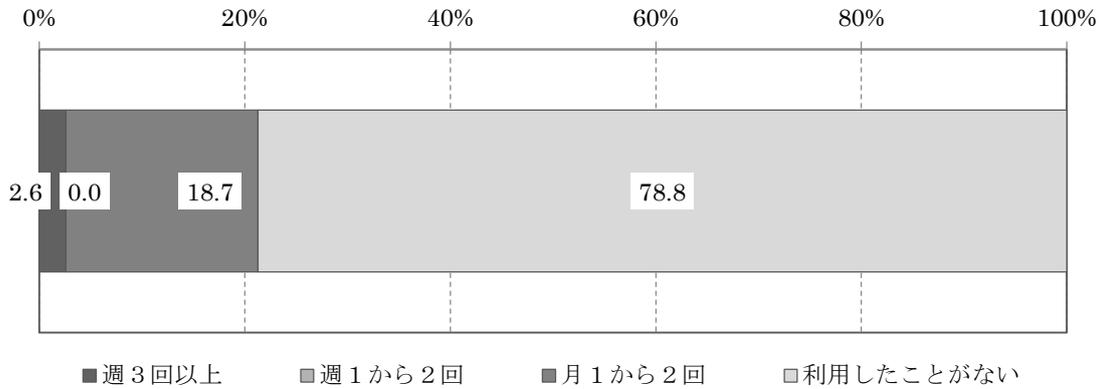


表 14-2 県公式ホームページの利用頻度（パソコン）（性別、年代別、居住圏域別、職業別）

条件別	週3回以上	週1から2回	月1から2回	利用したことがない
男性	4.6%	0.0%	25.3%	70.1%
女性	0.9%	0.0%	13.2%	85.8%
18歳又は19歳	5.0%	0.0%	15.0%	80.0%
20歳から24歳	2.6%	0.0%	17.9%	79.5%
25歳から29歳	1.3%	0.0%	21.3%	77.3%
県内	3.0%	0.0%	15.7%	81.3%
県外	0.0%	0.0%	37.0%	63.0%
学生	3.5%	0.0%	21.2%	75.3%
会社員、会社役員	2.4%	0.0%	13.1%	84.5%
その他の職業	0.0%	0.0%	29.2%	70.8%

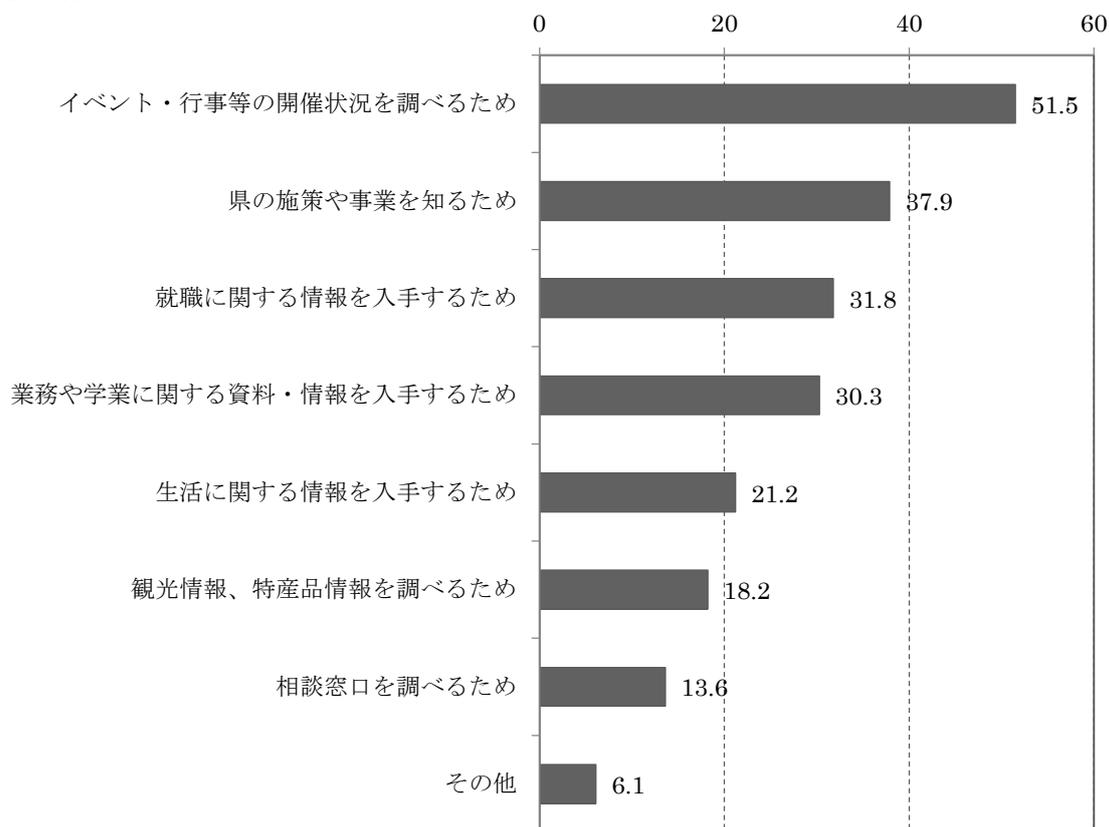
問14-2 県公式ホームページの利用目的

問14-2 県公式ホームページを利用したことのある方にお尋ねします。
あなたはどのような目的で県公式ホームページを利用しましたか。
(いくつでも)

図14-2 県公式ホームページの利用目的(全体)

回答者数(n=66)※

総回答数(N=139)



※問14で、いずれの端末（スマートフォンやタブレットまたはパソコン）でも「利用したことがない」と答えた方以外

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

- ・生活に関する情報（県有施設、子育て支援など）を入手するため
- ……生活に関する情報を入手するため

※「その他」の内容

- ・ミナモの出演依頼。
- ・岐阜県議会議員の情報を知るため。
- ・大学講義での調査活動のため。

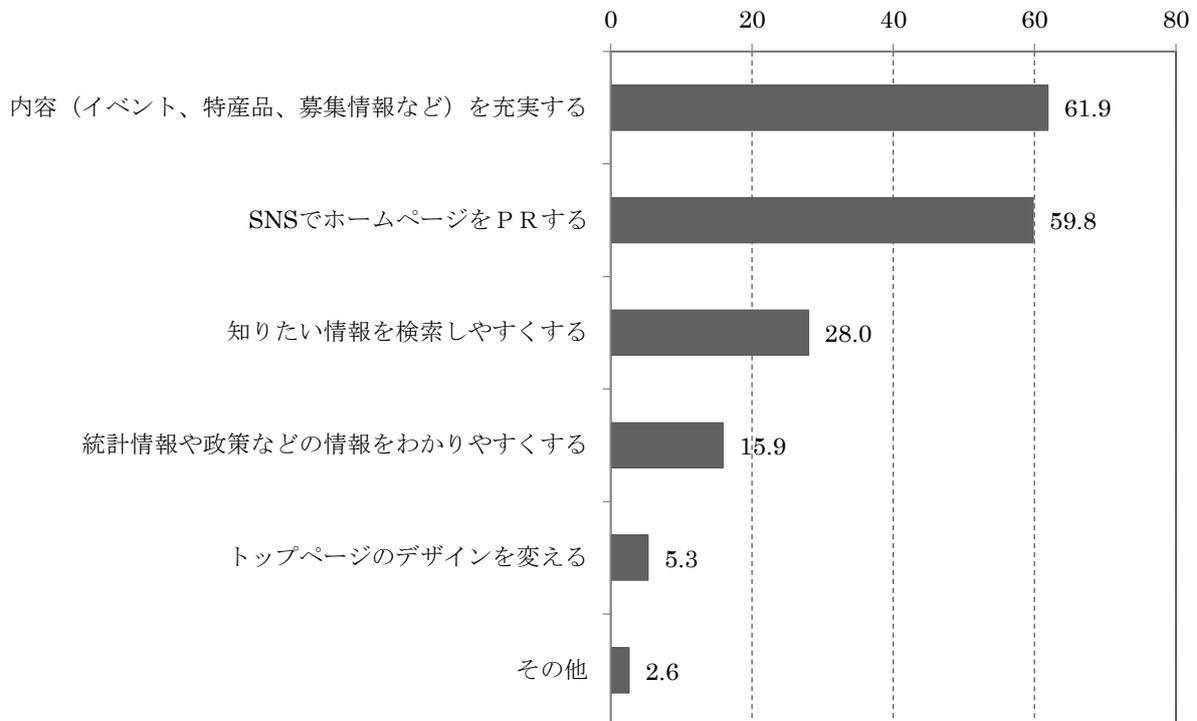
問14-3 県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと

問14-3 県公式ホームページの利用頻度を上げるには、何が必要だと思いますか。
(2つまで)

図14-3 県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと(全体)

回答者数(n=189)※

総回答数(N=328)



※「無回答」が4人いるため、回答者数は189人

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

- ・Facebook、TwitterなどのSNSでホームページをPRする
- ……SNSでホームページをPRする

※「その他」の内容

- ・天気予報や交通情報など県民のライフラインに関わることをトップ画面に載せる。
- ・各市区町村の広報チラシを、県のホームページでも閲覧できるようにする。
- ・会員登録できるようにしてポイントを付与する。ポイントは様々なものに利用できるようにする。
- ・デザインを全面改良してリンクをわかりやすくかつみやすく、扱いやすくする。
- ・イベント内容を若者向けにしてほしい。
- ・現状で十分機能していると思われる。

問15 岐阜県行政に対するご意見・ご要望

問15 岐阜県行政に対して取り組んで欲しいこと、改善して欲しいことなど、ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。(自由記述)

《主な意見》

県政情報の発信

- ・住んでいる市については何となく分かるが、県となると訪れたことのない市町村も多く、子育てに関することや学業、就職もバラバラなのではっきり市町村としてやっていること、県としてやっていることをわかるようにして欲しい。

広報

- ・どこにあるか分からない岐阜県を、アニメや、世界遺産登録の力も借りて、PRして欲しい。

清流の国ぎふ大学生等奨学金

- ・岐阜県Uターン奨学金に関して、岐阜県に本社を持つ企業という業種が限られすぎる。支社であっても岐阜県内であればよい、という方向にしたほうが岐阜県に戻る人は増えるのでは。

公共交通

- ・交通機関の充実が必要。県内はもちろんだが、岐阜県はいろいろな県と面しているため他県からのアクセスをよくすると岐阜県に立ち寄る機会が増え、岐阜県の良さをより多くの人に知ってもらえるのでは。

子育て

- ・これからも働きながら住みやすい環境、子育てしやすい環境づくりに取り組み、若者世代が岐阜県を盛り上げていけるようにして欲しい。

企業誘致

- ・大学や大企業を誘致し、進学、就職まで含め隣県である愛知県と共に一生涯のライフサイクルを完結できると県民が自信を持てる施策を期待する。

観光振興

- ・関ヶ原古戦場がイベントを沢山実施しており、まだ自分は参加したことはないが、活気を感じる。他の市町村でも色々やって欲しい、県にはその後押しを期待する。

都市計画

- ・土着の人間を定着させることともに、名古屋圏の周縁のベッドタウンとしての岐阜県という性格も考慮にいれ、計画的な都市計画を改めて行っていく必要がある。
- ・岐阜県全体として、栄えている地方が多く、東濃、西濃との繋がりが悪いことが人の流動性を妨げている。また、大きなアミューズメントがほとんどないに近いことも問題。もちろん伝統的な景観保護や、治安を守るためには、今のように落ちつきを持たなければいけないが、愛知の隣という立地をもっと有効的な使い方を模索すべき。

教育

- ・岐阜の観光名所、名物について小学校や中学校で学ぶ機会をもっと増やして欲しい。